

年次

場 所

ホテルグランドヒル市ヶ谷

〒162-0845 東京都新宿区市谷本村町4-1

フェア終了後の交流会は実施しません

入 場
無 料

令和5年

2 / 15

10:00~17:30

フォーラム 2023

産学官の連携による防衛施設技術の構築

次世代を担うミリタリーエンジニアの創出

▲ 事前参加登録のお願い

参加をご希望される方は、左記QRコードから事前参加登録を2月13日(月)まで
にお願いいたします。

また、未登録でのご来場も可能です。

<https://www.jsdfe.org/form23.html>



主 催
Organizer



一 般 社団法人 防衛施設学会

Japan Society of the Defense Facility Engineers

後 援
Supporters



防 衛 省
Ministry of Defense



公益財団法人 防衛基盤整備協会
Defense Structure Improvement Foundation

特別講演は、防衛政策等普及啓発事業費
補助金交付事業です。



URL : <https://www.jsdfe.org/>
mail : gakkai@jsdfe.org

日時：令和5年2月15日（水）10:00-17:30

場所：グランドヒル市ヶ谷 3階 瑠璃の間 発表各12分，質疑応答各3分

10:00～10:10 開会あいさつ 理事長(大野友則)

10:10～11:10 第1セッション：「建設技術」(4題)

座長：野々山栄人(防衛大学校 建設環境工学科)

- 1 「飛行場におけるドローン運用の問題点とその対策について」
○山本来実, 日南茂雄((株)アクティオ), 河井孝文(エアロセンス(株))
- 2 埋設物や空洞の調査を飛躍的に効率化！
～ 物理探査による埋設物等調査の新技术 ～
○金指勝, 内藤好裕, 楠本浩司(大和探査技術(株))
- 3 大規模事業におけるクラウドを活用した工事業者間の情報共有について
○森暁雄, 小原良子, 吉岡正泰, 住本英樹, 大森陽一(パシフィックコンサルタンツ(株))
- 4 車両走行時におけるジオセル補強地盤の支持力特性に関する室内実験
○宮本慎太郎, 宮田喜壽(防衛大学校)

11:10～11:25 休憩

11:25～12:40 第2セッション：「防災・環境」(5題)

座長：副島正睦(環境省 水・大気環境局)

- 1 「強かな」防災・応災・減災コンセプト構築の取り組みについて
～NPO法人 貯水タンク防災ネットワーク(Chonet)を通じた活動事例～
○荻原洋聡, 石川友樹((株)エヌ・ワイ・ケイ)
- 2 被災地での生活の質を向上させる「非常用生活用水浄化装置」の開発報告
～衛生的でストレスのない被災生活のために～
○中根圭介(ユーティリティ・ソリューションズ), 栗田恵子(コアララボ, 東京大学大学院教育学研究科)
- 3 フィルターイノベーションによる環境修復、PFAS水浄化、水・空気の循環利用
○山内仁, 西村章, 西村聡, 角田真之((株)流機エンジニアリング)
- 4 PFAS汚染土壌の浄化工法開発に向けた基礎的検討
○梅原悠平, 國井聡, 赤松佑介, 芳賀直樹, 竹澤正太郎(前田建設工業(株))
- 5 油含有土壌を対象とした効率的なバイオ処理技術の開発
○日野良太, 西川直仁, 藤井雄太((株)大林組), 廣瀬孝三郎, 松原仁, 新里尚也(琉球大学)

12:40～13:45 休憩

13:45～14:30 **第3セッション:「地盤・施設防護」(3題)**

座長:堀口俊行(防衛大学校 建設環境工学科)

1 限界状態設計法構築のためのアンカー補強材の土中挙動解明に関する研究

○野々山栄人, 宮田喜壽(防衛大学校)

2 インテグリティ試験による杭の健全度調査

○内田篤貴, 篠田里子, 齊藤弘昭, 割ヶ谷隆志(日本物理探査(株))

3 衝撃的張力作用時に塑性変形を考慮した緩衝構造の実験的研究

○別府万寿博(防衛大学校), 西本安志, 浮島徹, 廣岡宗一郎, 西村佳樹(シバタ工業(株))

14:30～14:45 休憩

14:45～16:00 **研究部会報告(避難施設技術部会)**

「避難施設(シェルター)設計ガイドライン(案)について」

避難施設技術部会部会長 園田佳巨(九州大学工学研究院教授 工博)

同 副部会長 別府万寿博(防衛大学校建設環境工学科教授 博(工))

同 アドバイザー Theodor Krauthammer(フロリダ大学インフラ防護・物理的安全保障センター所長、同土木工学科教授 Ph.D)

16:00～16:20 休憩

16:20～17:20 **特別講演**

不測事態に備えて ～自衛隊衛生の場合～

上部泰秀先生(前自衛隊中央病院長)

17:20～17:30 閉会あいさつ 副理事長(渡邊一浩)

※フェア修了後の交流会は実施しません。

【特別講演講師紹介】

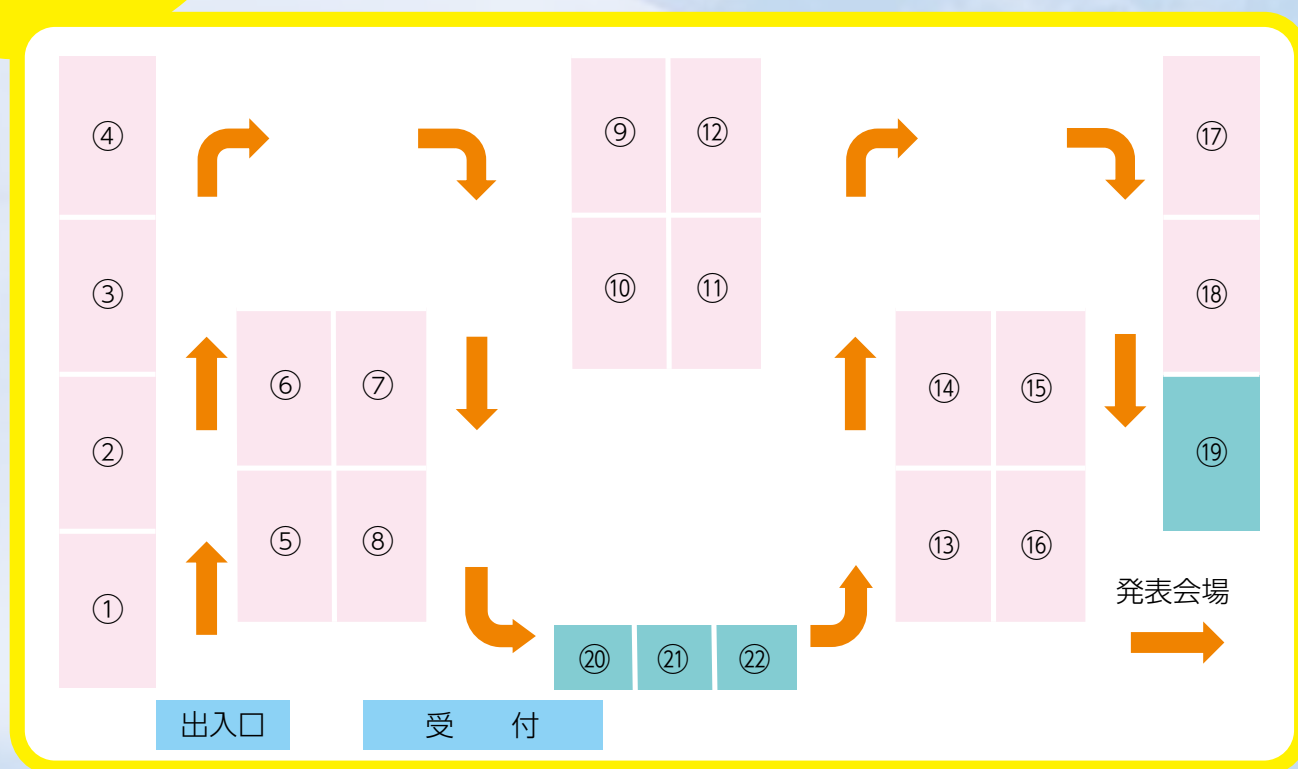
上部 泰秀 先生

(元陸将、前自衛隊中央病院長、
現うわべ内科クリニック院長)

略歴：1959年福岡県生まれ。1985年防衛医科大学校卒業後、陸上自衛隊入隊。1996年防衛医科大学校医学研究科終了。イラク先遣隊医官としてイラク派遣に参加し、陸上幕僚監部衛生部長として東日本大震災災害派遣活動の衛生支援に関与し、自衛隊中央病院長として新型コロナウイルス感染症に対処する等、長年に亘り防衛省・自衛隊の各種活動や衛生行政に従事。総合内科・呼吸器・呼吸器内視鏡専門医。

会場マップ Hall MAP

場所:3階 瑠璃の間



出展企業ブース

Exhibition Companies Booth

- ① 応緑 株式会社
- ② 株式会社 ゼットアールシー・ジャパン
- ③ 株式会社 ヤマックス
- ④ 大和探査技術 株式会社
- ⑤ J F E エンジニアリング 株式会社
- ⑥ 郡リース 株式会社
- ⑦ 株式会社 北川鉄工所
- ⑧ 共和コンクリート工業 株式会社
- ⑨ 佐藤工業 株式会社
- ⑩ 積水化学工業 株式会社
- ⑪ 東光鉄工 株式会社
- ⑫ リノ・ハピア 株式会社
- ⑬ 株式会社 イズマサ
- ⑭ 前田建設工業 株式会社
- ⑮ 昭和コンクリート工業 株式会社
- ⑯ 株式会社 アクティオ
エアロセンス 株式会社
- ⑰ 日之出水道機器 株式会社
- ⑱ 日本工営 株式会社

出展団体ブース

Exhibition Organizations Booth

- ⑲ 米国軍事技術者協会 (SAME)
- ⑳ 防衛省・自衛隊 東京地方協力本部
- ㉑ 独立行政法人 国際協力機構
人事部 開発協力人材室 (PARTNER)
- ㉒ 特定非営利活動法人
日本地雷処理を支援する会 (JMAS)

出展企業・団体の紹介

Exhibition Companies・Organizations

No. 01 世界最高水準GATE

ASTM衝撃基準クリアの耐衝撃性能高強度門扉

- 実績：岩国基地・三沢基地・宮古陸自・石垣陸自・嘉手納基地等。
- 基本性能：①軽操作性確保 ②防錆性能30年以上 ③対暴風、転倒防止機能。
- 最上位強度レベル：6.8t車が48km/hで衝突時、1-7mの進入量で阻止する。
- 対象：新築・リニューアル・セキュリティー & 強度UP・電動化・遠隔操作化工事。



応緑株式会社(オーリョク)
Ohryoku Co. Ltd.

〒670-0824 兵庫県姫路市京町1丁目11番地
TEL: 079-224-7501 FAX: 079-224-7507
URL: <https://www.ohryoku.co.jp> E-mail: info@ohryoku.co.jp

No. 02 常温亜鉛めっき Z.R.C.工法

COLD-GALVANIZING ZRC Construction Method

常温亜鉛めっきZ.R.C.は、1952年に米国海軍との共同研究開発以来、70年に渡り鉄を錆から守る方法として分野を越え採用されてきました。財団法人日本建築センターにおいて、建築技術審査証明(建築技術)を海外企業として初めて取得。鉄骨部材に素地調整をした後、ZRCを常温で塗布する事により、溶融亜鉛めっき JIS H8641 HDZT77 と同等の防食性能を実現します！



極東貿易Group
株式会社ゼットアールシー・ジャパン

〒100-0004 東京都千代田区大手町2-2-1 新大手町ビル7階
TEL: 03-3244-3830 FAX: 03-3244-3997
URL: <https://www.zrc-japan.com/> e-mail: info@zrc-japan.com

No. 03 省人・省力・工期短縮 多分割式ボックスカルバート工法

Precast concrete method of construction

ヤマックスでは運搬可能な寸法や重量に分割したプレキャスト部材を工場で製造し、施工現場では部材を組み立てて接合するだけで構造物の構築が可能な分割式プレキャスト製品を提供しております。形状は矩形のボックスカルバートやアーチカルバート、さらには二連・三連…多連ボックスカルバートなど現場状況に応じて最適な形状にて設計ご提案し、高耐久性及び耐震性向上並びに工期短縮、優れたコストパフォーマンスを実現します。



株式会社ヤマックス
YAMAX Co. Ltd.

〒862-0950 熊本市中央区水前寺3丁目9番5号
TEL: 096-381-1421 FAX: 096-384-5339
URL: <http://www.yamax.co.jp/>

No. 04 埋設物や空洞の調査を飛躍的に効率化！

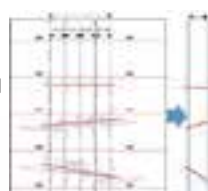
ー 物理探査による埋設物等調査の新技術 ー

地中レーダによる調査に加えて、磁気傾度計等を用いることにより、埋設物や空洞の位置情報を正確に把握するとともに、調査時間を大幅に短縮！

- 物理探査：弾性波探査、浅層反射法探査、高密度電気探査、音波探査、物理検層、地中レーダ探査
- 地質調査：ボーリング、地表踏査
- 環境調査：地下水調査、土壌汚染調査、環境調査(騒音、振動、水質)
- 測 量：陸測、海測、GNSS測量
- 研究開発：測定機器・解析システムの開発・販売
- そ の 他：映像鮮明化システムの販売・リース(協力会社：ユニバーサルコンピュータ研究所)



地中レーダ探査機器と記録例



磁気測定記録と埋設位置解釈例



磁気探査概念図



大和探査技術株式会社
Daiwa Exploration & Consulting Co., Ltd.

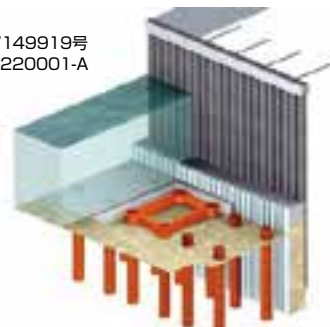
〒135-0016 東京都江東区東陽5-10-4
TEL: 03-5633-8080 FAX: 03-5633-8484
URL: <https://www.daiwatansa.co.jp>

No. 05 護岸岸壁補強工法

Sheet Pile Reinforcement Method

特許番号：第7149919号
NETIS：KTK-220001-A

- 概要
既存の護岸および岸壁に対して、前面側（海側）に矢板および杭式構造体を設置し、岸壁増深や耐震補強を行う技術である。
- 特長
対象施設背面側の工事が不要になるため、施設機能を維持しながらの補強と現地施工の工期短縮が可能である。



J F E エンジニアリング株式会社
JFE Engineering Corporation

〒100-0011 東京都千代田区内幸町二丁目2番3号
TEL: 03-3539-7226 FAX: 03-3539-7232
URL: <https://www.jfe-eng.co.jp/> E-mail: sato-taketomo@jfe-eng.co.jp

No. 06 環境負荷低減のシステム建築

System construction with large span 60 m

経済設計による鋼材削減により1トンにつき2トンのCO2削減。
最大無柱スパン60mまでフレキシブルに対応。
短納期による短工期の実現



郡リース株式会社
KOHRI LEASE Co.Ltd

〒106-0031 東京都港区西麻布3-20-16
TEL: 03-3403-8582 FAX: 03-5412-7775
E-mail: tokyo5@kohri.co.jp URL: <http://www.kohri.co.jp/>

No. 07 消火栓・給水栓の専門メーカー

錆びない・褪せないK-SG塗装／迅速な給水活動

- 概要
災害が発生した時、重要なのが消防用水や飲水の確保です。災害被害をより小さく・軽くするための消火栓・給水栓を製造販売しております。
- 特長
消火栓：いつでも最大限の効果を発揮できるよう、防錆・耐塩害性・維持管理に優れております。給水車用給水栓ほか、最重要ライフラインである飲水を、より効率的に給水車に給水・飲水を住民へ供給できます。



〒522-0004 滋賀県彦根市鳥居本町1258
TEL: 0749-22-2932 FAX: 0749-24-5905
URL: <https://www.k-fh.co.jp/> Email: info@k-fh.co.jp

No. 08 多用途コンクリートブロック

【コンバリアS】

◆概要

コンバリアSは、従来の根固めブロックの突起を迎合突起形状とし、上下左右のブロックの堅固な噛み合わせ構造を実現した【多用途コンクリートブロック】です。直積、階段積等も噛み合わせ可能なため、「砂防えん堤、床固め、導流堤、護岸及び土留め擁壁など広範囲に適用できるコンクリート二次製品です。」また、土木工事等仮設材、「防災用備蓄材としても有効な製品」です。



共和コンクリート工業株式会社
Kyowa Concrete Industry Co., Ltd

〒060-0808 札幌市北区北8条西3-28 札幌エルプラザ11階
TEL : 011-736-0181
URL : <https://www.kyowa-concrete.co.jp> E-mail : seihin@kyowa-concrete.co.jp

No. 09 自己充填覆工構築システム

覆工打設の締固めや配管盛替えを不要に！！

- 【概要】 締固め不要の高流動コンクリートの使用と圧入方式の採用により、振動締固めや配管の盛替えを行わずに天端部まで充填を完了させるシステム。
- 【特徴】 締固め不備による材料分離、充填不良、表面気泡の様な初期欠陥の排除が可能。
- 【メリット】 ① 従来の設備と人員を必要としなくても覆工構築が可能。
② 省力化、省人化と同時に覆工の品質向上を実現。
③ 将来的なトンネル覆工の自動化を実現。



佐藤工業株式会社
SATO KOGYO CO., LTD.

〒103-8639 東京都中央区日本橋本町四丁目12番19号
TEL : 03-3661-1794 FAX : 03-3668-9483
URL : <https://www.satokogyo.co.jp/>

No. 10 駐屯地・基地機能確保と建設コスト削減

Ensuring functions of the camps and bases, and reducing construction costs

《インフラの整備、改修において各案件毎に最適なご提案をいたします》

●概要

雨水排水管：強化プラスチック複合管「エスロンRCP」
下水道、雨水排水老朽管路更生、耐震化工法：「SPR工法」「オメガライナー工法」
水道管、建物給水管、埋設消火管：耐震型高性能ポリエチレン管「エスロハイパー」
災害用マンホールトイレ：「防災貯留型トイレシステム」



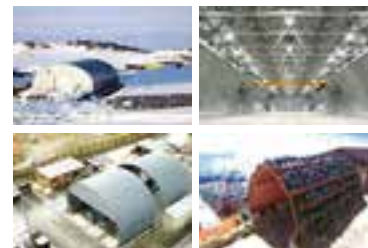
積水化学工業株式会社
SEKISUI CHEMICAL CO., LTD.

〒105-8566 東京都港区虎ノ門2-10-4 オークラプレステージタワー
TEL : 03-6748-6500 FAX : 03-6748-6565
URL : <https://www.eslontimes.com/>

No. 11 高強度構造物「TOKOドーム」

high strength warehouse

- 特徴 折鋼板構造物をアーチ状に曲げる技術を加工機と共に独自開発。軽量/高強度かつ、柱・梁が不要。内部が広く使え、短工期で、移設も可能。また、下部にレールと車輪を設けることでドーム自体を動かすことや、サイズを小さくして噴石避難用のシェルターとして等、様々な用途で使用可能です。
- 実績 ドーム：261棟（内 南極 6棟） | シェルター：4棟（御嶽山）



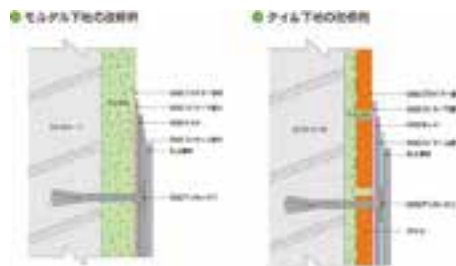
東光鉄工株式会社
Toko Tekko Co., LTD.

ドーム事業部
〒018-5752 秋田県大館市本宮字上八野8
Tel : 0186-42-6403 URL : <https://www.took-akita.co.jp>

No. 12 GNSピンネット工法

防衛施設の長寿命化のための外壁剥落防止技術

- 概要 劣化した既存仕上材の上に、剥落しない改修層を構築します。30年以上の耐久性を発揮し、防衛施設の長寿命化させます。
- 特徴 接着性の高いプライマーを塗布した上に、アクリル系フィラーを塗り付け、ビニロン性ネットを埋め込み、㎡当たり4本のステンレス製アンカーピンで躯体に止付けます。
国土交通大臣認可、建設技術評価証明書、建設技術審査証明取得



本社：〒145-0062 東京都大田区北千束1-3-1
TEL：03-3748-4011 FAX：03-3748-4011
URL：https://reno-happia.co.jp/ E-mail：info@reno-happia.co.jp

No. 13 無電極照明「エコ太郎」

電磁誘導の技術を利用した無電極ランプ

省電力、長寿命、省資源化に優れた、LEDとは違う次世代照明です。

【5つの特徴】

- ①明るい空間光で影ができにくく視界良好
- ②瞳にやさしい、眩しくなく疲れにくい光
- ③3波長によって、物が持つ本来の自然な色合いを表現
- ④構造上、電極等の消耗部材を持たないので長寿命
- ⑤省エネ



株式会社イズマサ
IZUMASA Co. Ltd.

〒535-0021 大阪府大阪市旭区清水4丁目6番27号
TEL：06-6953-7154 FAX：06-6953-7636
URL：https://www.izumasa.co.jp E-mail：uramaru@izumasa.co.jp

No. 14 水中のPFOS・PFOA吸着処理システム

～水資源の有効活用を目指して、循環式での浄化を実現～

- ▶PFAS処理専用のイオン交換樹脂により、PFOS等を効率的に除去が可能
- ▶可搬式で汚染された池、貯水槽等を現地で迅速にPFOS等の除去が可能
- ▶循環処理方式により、水質改善だけでなく、水資源の有効利用が可能
- ▶安全な水の提供により、すべての人の健康に寄与し、SDGsに貢献
- ▶PFOS・PFOA吸着処理システム「De-POP's ION™」は、「除濁装置ユニット」と「イオン交換樹脂塔ユニット」の2ユニットで構成



前田建設工業株式会社
Maeda Corporation

〒102-8151 東京都千代田区富士見2-10-2
TEL：03-5276-5161 FAX：03-5276-5256
URL：https://www.maeda.co.jp/ E-mail：maeda-release@city.maeda.co.jp

No. 15 箱型擁壁

プレキャストコンクリート製品を用いた多機能擁壁技術

鉄筋コンクリート製品と単粒度碎石にて構築する擁壁工法。製品は耐久性と低コストを持ち合わせ、更に擁壁として地震に強い特性を示す。容易な施工性により道路構築、法面保護の他、災害復旧にも適している。

- 特徴：①高耐久②低コスト③施工が容易④迅速な災害復旧⑤災害に強い
- 施工実績：2800件、壁高8m以上実績：1100件



昭和コンクリート工業株式会社
SHOWA CONCRETE INDUSTRY Co., Ltd.

〒103-0027 東京都中央区日本橋1-1-5 OP日本橋ビル9F
TEL：03-3281-3641 FAX：03-3281-0334
URL：https://www.showa-con.co.jp

No. 16 国産ドローンソリューション

超長時間・超高精度・超長距離活用を実現

■ ボタンワンブッシュで飛行とデータ活用まで■

- 概要 自社の開発体制をフル活用し、測量・点検・監視等の分野で、撮影からデータ活用まで一気に行える国産ドローンパッケージを提供しています。
- 特長 長時間の定点監視や長距離巡視等の現場で、ボタン一つで簡単にドローン活用。機体だけでなくデータの活用方法までトータルでご提案します。



株式会社アクティオ

〒103-0027 東京都中央区日本橋3-12-2 朝日ビルディング7F
TEL : 03-6867-8930 FAX : 03-6867-8931 URL : <https://www.aktio.co.jp>

エアロセンス株式会社 Aerosense Inc.

〒112-0002 東京都文京区小石川5-41-10 住友不動産小石川ビル
TEL : 03-3868-2551 FAX : 03-3868-2541 URL : <http://www.aerosense.co.jp>

No. 17 海水や硫化水素等による劣化を抑制する鉄鋼塗装技術、レジンコンクリート製品

防衛施設は沿岸部に位置している施設も多く、特に離島の場合は破損や不具合発生の際へのタイムリーな対応が課題。グレーチング、マンホール蓋の耐久性向上によるLCCの改善と安全性の担保・維持管理性の向上を目的として、鉄鋼+塩害対策塗装技術、マンホールや側溝についても優れた耐食性を有しているレジンコンクリート製品も合わせてご提案いたします。



塩害腐食対策鉄鋼製
グレーチング



デザインマンホール蓋



レジンコンクリート製マンホール

日之出水道機器株式会社

HINODE Co. Ltd.

〒102-0084 東京都千代田区二番町7番地5 (二番町平和ビル3F)
TEL : 03-5211-1447 FAX : 03-5211-5868
E-mail : h-jinbo@hinodesuido.co.jp

No. 18 BSC工法

土壌藻類を活用した環境にやさしい表面侵食防止技術

BSC工法は、自然な植生遷移の最初に形成される土壌藻類等によるバイオリジカル・ソイル・クラスト (Biological Soil Crust : BSC) が侵食防止効果を持つことに着目し、より早期に在来藻類によるBSCを形成して植生遷移をスタートさせる、環境にやさしい技術です。簡単に法面整形無しでも施工可能であり、周辺環境に応じた植生遷移を促進します。



日本工営株式会社

Nippon Koei Co., Ltd.

〒102-8539 東京都千代田区麹町5-4
TEL : 03-3238-8369 FAX : 03-3238-8316
URL : <https://www.n-koei.co.jp/> E-mail : ml-e-senryaku@dx.n-koei.co.jp

No. 19 Discover SAME

<http://themilitaryengineer.com/>

“SAME (通称：サミー)”は1920年に創立され、102年間、国家安全保障をエンジニアの観点から支援するミッションを掲げています。我々は軍・公・民・教育機関、および専門機関との連携を重要視し、各分野で活躍する方に専門知識を増やす機会、自己啓発プログラム、また他のプロフェッショナルとのネットワークやコミュニティー作りを企画、支援しています。



アメリカミリタリーエンジニア協会
Society of American Military Engineers

c/o MMC エグゼカティブブランチ米海兵隊キャンプ・スメドリー・バトラーユニット35023, FPO, AP 96373-5023 URL : <http://www.same.org/Japan> E-mail : sameokinawa@gmail.com

No.
20

自衛隊東京地方協力本部

JSDF TOKYO
Provincial Cooperation Office

地方協力本部は、陸上自衛隊、海上自衛隊、航空自衛隊の共同機関です。
東京地方協力本部は、自衛隊の総合窓口として活動し、主として自衛官の募集等を行っております。現在も、令和4年度の自衛官候補生を募集しています。

また、次年度募集も並行して行っております。一般の社会人や学生といった自衛官未経験者を「予備自衛官補」として採用・公募する制度もございますので、興味のある方は是非ブースまでお越し下さい。



自衛隊東京地方協力本部
JSDF TOKYO Provincial Cooperation Office

〒162-8850 東京都新宿区市谷本村町10番1号（外務省子弟寮跡地）
TEL・FAX：03-3269-3513
URL：http://www.mod.go.jp/pco/tokyo/ E-mail：adm1-tokyo@pco.mod.go.jp

No.
21

国際キャリアへ 学び、つながり、働こう。

http://partner.jica.go.jp

PARTNERは、国際協力分野で活躍を目指す方とそのような方を求める団体を結び付けることを目的とし様々な情報をお届けする「国際キャリア総合情報サイト」です。これまで、国際機関、開発コンサルティング企業、国際協力NGO/NPO、国際協力関連機関、政府機関・地方自治体、大学、民間企業など、幅広い実施団体の国際キャリア人材の採用にお役立ていただいております。当サイトでは、多言語を扱うグローバル人材や専門的な技術・知識をもつ人材など、約6万人の登録者に対し、求人や研修イベントの情報掲載が可能です。団体登録後は、全てのサービスを無料でご利用できます。



独立行政法人 国際協力機構 人事部開発協力人材室 PARTNER事務局
Japan International Cooperation Agency

〒162-8433 東京都新宿区市谷本村町10-5 JICA市ヶ谷ビル
URL：http://partner.jica.go.jp

No.
22

特定非営利活動法人

日本地雷処理を支援する会
Japan Mine Action Service

JMASは、専門技術を有する自衛隊OBが中心となり、技術指導を通じた地雷・不発弾処理や、地域復興支援プロジェクトを実施しているNGO団体です。

2002年「我々にしかできない仕事」との想いから活動を始め、現在は4か国で支援事業を行っています。「現地の人々自らの発展」を支援すべく、「地雷や不発弾の無い世界」を目指して国際貢献活動を続けています。



特定非営利活動法人 日本地雷処理を支援する会
Japan Mine Action Service

〒102-0074 東京都千代田区九段南3-8-10 川内ビル10階
TEL：03-6261-7851 FAX：03-6261-7852
URL：https://jmas-ngo.jp/jmas/

次回イベント告知

Next Event

METF2023 17th Military Engineer Techno-Fair
第17回 ミリタリーエンジニアテクノフェア

(防衛施設に関する新技術展示会)

Annual New Technology Exhibition related to the Defense Facility Engineering

2023年9月6日（水）10：00～17：30（予定） グランドヒル市ヶ谷

6 September 2023 10:00-17:30 Hotel Grand Hill Ichigaya

次世代を担うミリタリーエンジニアの創出

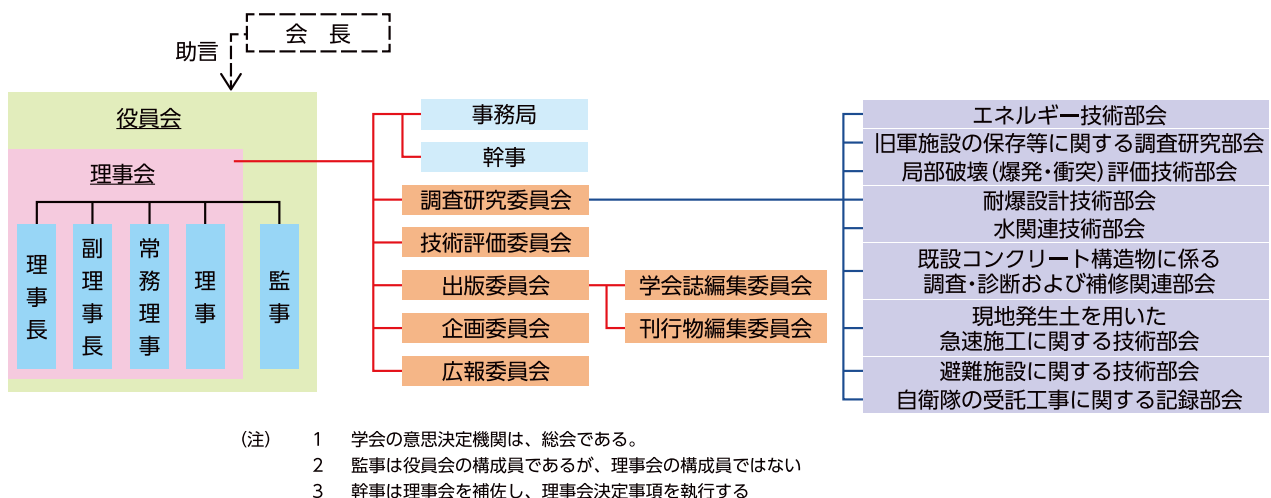
一般社団法人 防衛施設学会について

我が国の安全保障の基盤を担う自衛隊、在日米軍が使用する防衛施設は、飛行場、港湾施設、演習場等、多種多岐に亘っています。防衛施設技術とは、防衛施設を中心とする建設工学、自然科学及び軍事工学から構成される極めて多角的な総合技術です。

防衛施設学会は、我が国で唯一の防衛施設技術を中心とする関連分野の学会です。

組 織

防衛施設学会組織図



入会のご案内

一般社団法人防衛施設学会は、正会員、法人会員及び学生会員によって構成されています。

本会では、活動を発展させていくため、正会員、法人会員及び学生会員の入会勧誘キャンペーンを実施しています。

会員の専門分野は、防衛施設に関連する建設技術（建築学、土木工学、材料工学、環境工学等）、軍事技術など多岐にわたり、それぞれ専門の大学・研究所・関係官庁の技術者・研究者はもちろんのこと、関連技術をお持ちの一般企業の技術者・研究者の入会をお待ちしております。

※本会は、主として正会員の年会費（4,000円）と、本会の活動にご賛同いただいた法人会員の年会費（50,000円）によって運営されています。

会場案内図

グランドヒル市ヶ谷

〒162-0845 東京都新宿区市谷本村町4-1



問い合わせ先

一般社団法人 防衛施設学会

<https://www.jsdfe.org/>

電話 : 03-6273-0328

FAX : 03-3292-1485

E-mail : gakkai@jsdfe.org

